



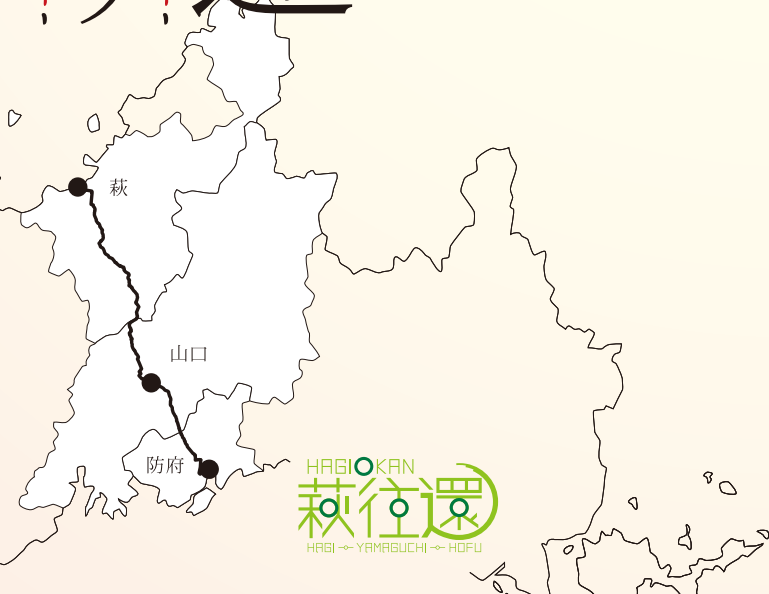
HAGI-OKAN ROUTE MAP

四十二の曲がり

萩往還 ルートマップ

歴史の道

萩市・山口市・防府市



HAGI-OKAN
萩往還
HAGI-YAMAGUCHI-HOFU

かえらじと思いさだめし旅なれば、一入（ひとしほ）ぬるる涙松かな

湯田温泉



その昔、白狐が傷を癒すため足をつけていた池から温泉が湧き出たという伝説を持つ湯田温泉です。

湯田温泉観光案内所

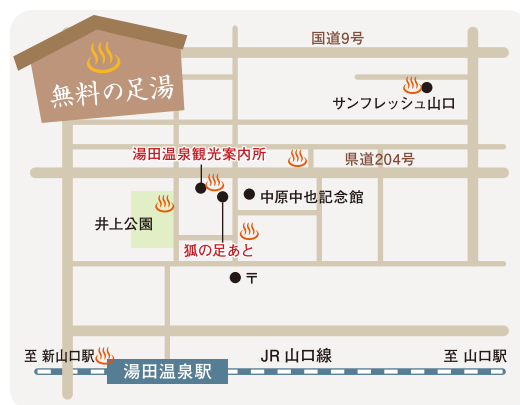


営業時間	9:00~18:00
TEL	083-901-0150
住所	山口市湯田温泉 2 丁目 1-23
定休日	年中無休

湯田温泉観光回遊拠点施設 "狐の足あと"



営業時間	8:00~22:00
TEL	083-921-8818
住所	山口市湯田温泉 2 丁目 1-23
定休日	年中無休



湯田温泉街には無料で利用できる「足湯」が6ヶ所あります。地元の方や観光に来られた方、いろいろな人と気軽に交流できる憩いの場です。ぜひご利用ください。



湯田温泉の詳細情報

湯田温泉旅館協同組合サイト <https://www.yudaonsen.com/>



萩往還についてのお問い合わせ先

◆ 一般財団法人山口観光コンベンション協会
〒753-0042 山口県山口市惣太夫町2-1 JR山口駅2階
tel.083-933-0088 fax.083-933-0089 <https://yamaguchi-city.jp>



◆ 一般社団法人萩市観光協会
〒758-0061 山口県萩市椿3537-3
tel.0838-25-1750 fax.0838-25-2073 <https://www.hagishi.com/>



◆ 一般社団法人防府観光コンベンション協会
〒747-0029 防府市松崎町11-19 好文館1F
tel.0835-25-2148 fax.0835-25-4537 <https://visit-hofu.jp/>



萩往還サイト
<https://hagi-okan.yamaguchi-city.jp/>

吉田松陰歌碑（涙松遺址）より



六軒茶屋跡

歴史を感じ、自然を感じる

萩往還を歩こう。

選定／文化庁

歴史の道百選（一九九六年）

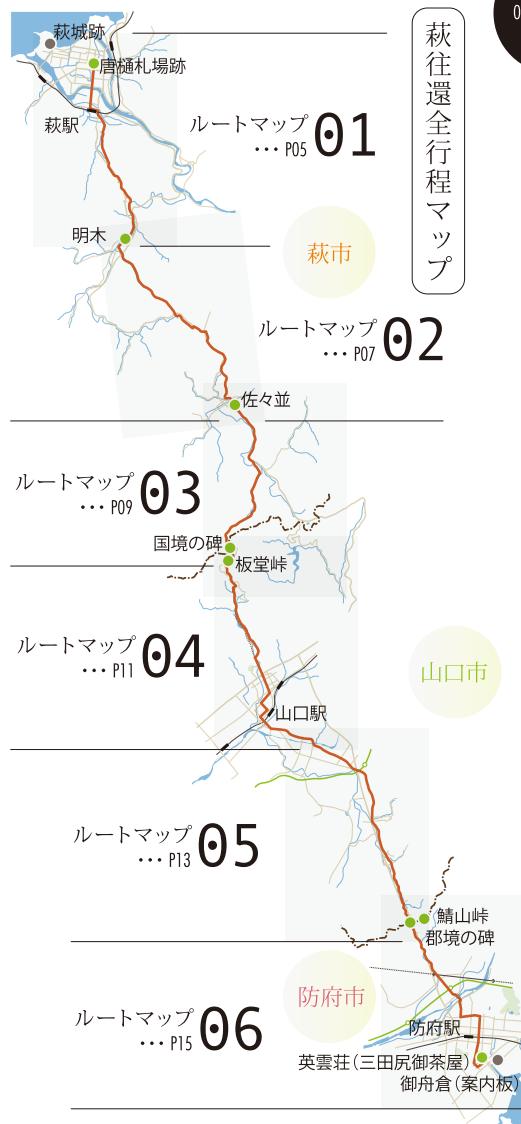
選定／社団法人日本ウォーキング協会

美しい日本の歩きたくなるみち500選
(二〇〇四年・萩／山口間)

1989年

国の史跡に
指定

萩往還全行程マップ



萩往還は日本海に面した萩城下町(唐樋札場／萩市)から
瀬戸内海(海港・三田尻(三田尻御茶屋／防府市)までを結ぶ、
全長約53 kmの街道です。

時を越え、新しい出会いへと誘ってくれる萩往還。

萩往還は、毛利氏が慶長9年(1604)萩城築
城後、江戸への参勤交代での「御成道(おなりみ
ち)」として開かれました。日本海側の萩(萩市)
と瀬戸内海側の三田尻港(防府市)をほぼ直線で
結び、全長はおよそ53 km。

江戸時代の庶民にとって山陰と山陽を結ぶ「陰陽
連絡道」として重要な交通路であり、幕末には、
維新の志士たちが往来し、歴史の上で重要な役
割を果たしました。

萩往還には、人馬の往来に必要な一里塚・石畳・茶
屋跡・御駕籠建場・通行人を取り締まる口屋跡が
残っています。大部分は国道や県道、公道として

現在も利用されていますが、起伏の激しい山間道
の中には廃道となったものもありました。そこで、
近年これらを保存し、後世に伝えていくために整
備が進んでいます。

幕末に維新の志士たちが時代とともに駆け抜け
た萩往還。はるか
江戸につながるこ
の道を、武士や庶
民、そして幕末の
志士たちはどのよ
うな想いで歩いた
のでしょうか。



松陰記念館前の銅像

HAGI CITY



a 唐樋札場跡 (からひふだばあと)
ルートマップ01 P06



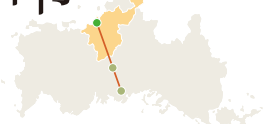
b 涙松跡・吉田松陰歌碑
(涙松遺址)
ルートマップ01 P06

c 一升谷の石畳
ルートマップ02 P08

萩市の中心部、唐樋(からひ)町に位置する「札場跡」。藩府・萩と防府三田尻を結ぶ、萩往還の起点となる場所です。周防・長門両国の一里塚の基点とされました。また、幕府や藩からの「御触」(法令や規則など)が掲げられた高札も立っていました。

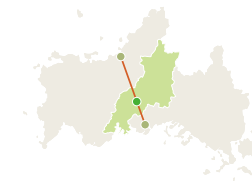


はぎ
し
萩市



YAMAGUCHI CITY

やまぐち
し
山口市



往還最大の難所、一の坂にあつたとされる茶屋が六軒茶屋です。ここは昔六軒の農家があり、佐々並から山口に家があったのはここだけで、往來の旅人の良い休み場で、軒先を茶店にして旅人をもてなしていたことから六軒茶屋と呼ばれるようになりました。

萩往還には旅人の休憩の場として茶屋が所々に設けられていました。その茶屋の中で、萩

a 六軒茶屋跡
ルートマップ04 P12

b 国境の碑
ルートマップ03 P10

c 四十二の曲がり
ルートマップ04 P12

d 天花坂口
ルートマップ04 P12

HOFU CITY

a 御舟倉(案内板)
ルートマップ06 P13

b 英雲荘(三田尻御茶屋)
ルートマップ06 P13

c 野村望東尼(のむらぼうとうに)
終焉の宅跡 ルートマップ06 P13

d 防府天満宮
ルートマップ06 P13



ほ
う
ふ
し
防府市



御舟倉には藩主が乗船する「御座船」などの船が係留され、周囲には船の建造や修繕のためのさまざまな施設が建てられていました。幕末には吉田松陰や坂本龍馬など、多くの志士たちがこの三田尻を経て各地を行き来しました。



—名所・旧跡—
往時の情景に想いをめぐらしながら。

萩往還は歩くだけではなく、歴史の息吹を感じられる歴史街道です。

ルートマップ 01

Route.01
唐樋札場跡（明木市）

から ひ ふ だ ば あ と あ き ら ぎ い ち
毛利 36 万石の城下町として栄え、明治維新の原動力となる多くの志士を生み出した萩を感じながらウォーキングを楽しめます。吉田松陰の史跡・記念館もあります。



ルートマップ 02

Route.02

あきらぎいち

明木市〜佐々並市(萩市)

明木、佐々並は萩往還の宿場町として発展し、「市の町」(商店の並ぶ町)として栄えました。今もなお、風情ある街並をとどめ、佐々並市は国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。

明木市〜佐々並市

距離・・・約9km

所要時間・・・約3時間30分

● 萩往還関連(史跡・名所・目印)

● その他(史跡・名所・目印)

● お店

■ 標識

♀ バス停

♂ トイレ

♂ 休憩所

♂ 駐車場

— 萩往還

- - - 本来の往還道(推定)
※現在は通れません

0 500m 1km



萩往還ウォーキングモデルコース

一升谷の石畳コース

<ルート・全長>

明木〜約9km(約210分)〜佐々並

<コースの特徴>

石州瓦葺きの屋並みが美しい明木の街を抜け、旧往還道の難所の一つであった標高差300mの石畳の道歩くコース。敷き詰められた石畳からは志士たちの情熱が伝わってきます。約400年もの間あらゆる風雪に耐えた歴史的価値が高い道です。



ルートマップ 03

Route.03

佐々並市～防長国境（萩市）

長門・周防の国境、萩往還最大の難所である板堂峠に建つ、高さ 2メートルほどの国境碑。「南周防国吉敷郡」「北長門国阿武郡」と刻まれ、文化5年（1808年）建立。往来する旅人を見守りつづけています。

佐々並市～国境の碑
距離・・・約7.5km
所要時間・・・約2時間

- 萩往還関連（史跡・名所・目印）
- その他（史跡・名所・目印）
- お店
- 標識
- バス停
- ♂ トイレ
- ☑ 休憩所
- 🚗 駐車場
- 萩往還
- 本来の往還道（推定）
※現在は通れません

0 500m 1km



萩市

山口市

道の駅あさひ
佐々並
萩往還ふれあい塾
← 国道262号と合流

板橋口

板橋峠

大迫口

日南瀬峠

中作

首切れ地藏

吉田松陰東送通過の地 石碑

復元された石風呂

本物の石風呂

日南瀬

62

262

上長瀬一里塚

逆修石



萩往還夏木原交流施設・
21世紀の森
夏木原キャンプ場

吉田松陰
東送の碑

一の坂銀山跡

国境の碑

熊に注意

板堂峠

県道横断あり
車両に注意！

キンチヂミの清水

一貫石

一の坂一里塚

板堂峠・
国境の碑

萩往還は区間によって、森林浴効果も

近年、森には癒し効果があることが科学的に実証されました。萩往還は板堂峠をはじめ、山道が続く箇所がいくつかあり、森の香りや色彩、景観などを楽しめ、森林浴効果も期待できます。

標高537mの板堂峠は萩往還一の難所

山口市街側から板堂峠に向かうルートを取る場合、急坂の四十二の曲がり萩往還で標高の一番高い板堂峠が待ち受けています。無理をせず、その日の体調に合わせて歩きましょう。

600m
500m
400m
300m
200m
100m
0m

ルートマップ 04

Route.04
防長国境～大内御堀(山口市)

山口は室町時代、大内氏が隆盛を極め、大内文化が開いた街。江戸時代には、萩に藩庁が置かれたが、その間、萩往還によって交流は絶えることなく、文久3年(1863年)藩庁が山口に移り、明治維新を支えた。

国境の碑～山口

距離・・・約9km

所要時間・・・約3時間

萩往還ウォーキング
モデルコース

一の坂 四十二の曲がりコース

<ルート・全長>

国境の碑～約3km(約90分)～天花

<コースの特徴>

難所である一の坂四十二の曲がりを感じ取るコース。かつて貴重であった氷を保存した氷室、街道を行き交う旅人の休憩の場である「六軒茶屋跡」やキンチヂミの清水を巡る。天花地区周辺には昔ながらの風情を残した懐かしい景色が広がります。

●「裏」萩往還とは

山口の三大まつりの一つ「山口天神祭」での、御神幸行列が、大市～中市～米屋町～道場門前～西門前～黄金町～山口駅通りのルート(マップの破線部分)となっています。そういった縁もあり、地元ではこちら側が「萩往還」という認識が強くあります。



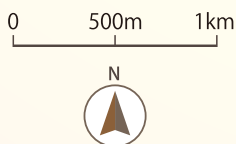
大内御堀（鯖山峠）（山口市）

山口市街地から大内御堀、下小鯖を抜け、鯖山峠まではほぼ平坦な道がつづきます。鯖山峠は現在「佐波山峠」と書き、「勝坂の峠」とも呼ばれています。

山口市

山口～郡境の碑
距離・・・約10.5km
所要時間・・・約3時間

-  萩往還関連(史跡・名所・目印)
 その他(史跡・名所・目印)
 お店
 標識
 バス停
 トイレ
 休憩所
 駐車場
 萩往還
 本来の往還道(推定)
 ※現在は通れません



※美由伎松の前に横断歩道はありません。

防府市

ルートマップ 06

Route.06
さばやまとうげ みやいち
鯖山峠～宮市～三田尻(防府市)

鯖山峠を越え、佐波川を渡ると防府天満宮を中心に賑わった宮市に入り、三田尻御茶屋へとつづきます。三田尻御茶屋は昭和14年(1939年)に防府市へ寄贈され、毛利重就の法号にちなみ「英雲荘」と命名されました。



萩や防府、山口から萩往還ウォーキング。

Access

萩

萩往還までのアクセス(萩城跡・唐樋札場跡まで)

JR山陰本線萩駅・玉江駅よりバス、またはタクシーで。

バス

萩循環まあるバス(西回りコース(晋作くん))、萩駅・玉江駅からご乗車できます。萩駅の前は萩往還です。

●萩循環まあるバスのお問い合わせ

防長バス《防長交通(株)萩営業所》tel.0838-22-3811



タクシー

萩近鉄タクシー	tel.0838-22-0924	萩市大字唐樋町11-2
萩第一交通	tel.0838-25-5050	萩市唐樋町3-19
日の丸松野タクシー	tel.0838-22-0163	萩市今古萩町17

山口

萩往還までのアクセス

JR山口線山口駅より徒歩で。(約2分)



タクシー

大隅タクシー	tel.083-922-0860	山口市朝田928-1
いさむや第一交通	tel.083-922-1368	山口市朝田2096-1
中司タクシー	tel.083-922-0812	山口市湯田温泉2-1-23
山口交通(株)山口営業所	tel.083-922-1881	山口市湯田温泉1-11-35
湯田都タクシー	tel.083-922-0232	山口市神田町2-16
山野タクシー・山口交通	tel.083-928-1940	山口市朝倉2-3
フラワータクシー	tel.083-902-6869	山口市黒川812-2

防府

萩往還までのアクセス(英雲荘・御舟倉まで)

JR山陽本線防府駅よりバス、またはタクシーで。

バス

防府駅南口(みなと口)から路線バスをご利用の場合。

●防府駅南口バス停より乗車

防府駅南口 → 車塚 → 東車塚 → 堀口通 → 自力東町 ●●

●お問い合わせ 防長バス《防長交通(株)防府営業所》tel.0835-22-3765



タクシー

防府構内タクシー	tel.0120-77-6333	防府市新橋町14-27
日の丸タクシー	tel.0120-78-0897	防府市大字浜方古古浜55
日名内タクシー	tel.0835-22-0471	防府市八王子2-5-2
日本交通(株)防府営業所	tel.0835-22-0988	防府市大字田島776-3
周防タクシー	tel.0835-22-2730	防府市緑町1-2-37

萩往還(国道262号)に沿って路線バスが走っています

「明木」「佐々並」へは路線バスがご利用いただけます(萩・山口より運行)。詳しくは下記へお問い合わせください。

中国ジェイアールバス山口支店 tel.083-922-2519

<http://www.chugoku-jrbus.co.jp/>

防長バス《防長交通(株)萩営業所》tel.0838-22-3811

<http://www.bochobus.co.jp/>